

研究機関名：東北大学

受付番号： 2010-523
研究課題名： 虚血組織におけるマーカー探索
研究期間 西暦 2010 年 12 月（倫理委員会承認後）～2015 年 11 月
対象材料 <input checked="" type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 脳、心臓、腎臓、肝臓、膵臓、 <u>消化管</u> ） <input checked="" type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 脳、心臓、腎臓、肝臓、膵臓 <u>消化管</u> ） <input checked="" type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（ ）
上記材料の採取期間 西暦 1990 年 1 月～2010 年 12 月
意義、目的：移植や急性腎不全時における虚血障害のマーカー探索は <u>脳梗塞、心臓、腎臓・肝臓移植やショック心・腎・肝、手術後の臓器不全、虚血腸管や炎症性腸疾患</u> またはそれら臓器の治療や移植後の拒絶を早期に発見し生存率、臓器生着率を上げるために欠かせない。 現在までに近位尿細管の組織障害マーカーが幾つか見つかっているがその信頼性、急性期検出力、予後との相関は弱いのが現実である。 そこで本研究では脳、心臓、肝臓、腎臓、膵臓、 <u>消化管</u> での病的障害時や移植・あるいは拒絶反応時、更にはコレステロール塞栓症や ARDS や SARS で急性虚血障害を起こした組織をこの抗体で染色することで有用な急性組織不全の検出法になるかどうかを <u>過去に採取されたヒト組織検体組織標本を虚血マーカー抗体で染色し、その染色性と臓器障害程度、臨床経過との相関を検討する。</u>
方法： <u>脳虚血疾患、腎移植、膵実質組織、心筋バイオプシー、心筋標本、炎症性・虚血性大腸疾患、消化器固形癌</u> の病理組織・生検組織を用いて免疫染色法を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口 住 所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 研究機関名：東北大学病院腎高血圧内分泌科 電 話：022-717-7163、F A X：022-717-7168 担当者氏名：阿部高明 takaabe@med.tohoku.ac.jp